

「心臓血管外科術後のたんぱく質摂取量が、術後在院日数に及ぼす影響の調査」

1. 研究の対象

2021年4月1日～2022年3月31日の間に、近江八幡市立総合医療センターにおいて、心臓血管外科予定手術（大血管置換術、冠動脈バイパス術、弁置換術、弁形成術）を受けられた方を対象としています。

2. 研究の背景・目的・方法・期間

〔背景〕 たんぱく質投与不足は、免疫機能の低下や易感染状態を引き起こし、在院日数や死亡率の増加につながるという報告があります。開心術では大きな侵襲を伴い、術後は筋蛋白の異化亢進が認められます。さらに、術後早期は侵襲による食思不振で、必要とされている食事摂取量に充足していないケースも見受けられます。術後のたんぱく質摂取量と、術後在院日数の関連を明らかにする事により、診療の一助となる可能性があります。

〔目的〕 心臓血管外科術後のたんぱく質摂取量と術後在院日数の関連を調査することです。

〔方法〕 術後1週間の栄養摂取量をカルテ情報より取得し、術後在院日数との関連を解析します。

〔期間〕 倫理委員会承認後から2023年5月10日

3. 研究に用いる資料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重）、診断名、併存疾患、血液生化学、栄養情報（必要栄養量、摂取栄養量）、術後感染症の有無、術後在院日数をカルテ情報より取得します。

4. 個人情報の取扱いについて

患者さんの氏名およびIDを削除し、代わりに新しく符号または番号を付けて仮名化処理を行い、個人が特定できないようにします。また、個人が特定できる情報は外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかるパソコン上に保存します。この研究で得られた情報は研究責任者（深谷千佳）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。なお、本研究において得られた情報は、院外への発表が行われてから10年保管し、適切に廃棄します。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究の結果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報が特定できないよう配慮し、今回の研究目的以外に使用することはありません。

6. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター 医療技術部栄養管理科 氏名 深谷千佳

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター 医療技術部栄養管理科 氏名 坂田賀菜

7. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧することが出来ます。

また、本研究対象に該当するかたで、本調査へのご了承が得られない場合（診療録を見られたくないなど）は、その求めに応じて対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2023年1月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター 医療技術部栄養管理科

氏名 深谷千佳（研究責任者）

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TELL 0748-33-3151